



報道関係者各位
プレスリリース

2023年4月4日
三和エナジー株式会社・ヒラオカ石油株式会社

バイオディーゼル燃料（B100） 東急建設現場内の発電機へ供給開始

～建設現場でのCO₂削減 脱炭素社会を目指して～

三和エナジー株式会社(本社：神奈川県横浜市港北、代表：高松克行 以下当社)は、建設現場におけるCO₂排出の持続的な削減と使用済み食用油のリサイクルを目指し、植物由来油から製造されるディーゼルエンジン用のバイオディーゼル燃料(以下 B100 燃料)の供給を致します。

■取り組み内容

- ・供給先：東急建設株式会社
- ・使用機械：アクティオ製 B100 専用発電機

B100 は、使用済みの食物油などから精製されたものを利用し、主原料である植物が成長過程で CO₂ を吸収する（カーボンニュートラル）ことから、約 100%の CO₂排出量削減となる日本建設業連合会が施工段階における CO₂ 削減方策として、軽油代替燃料の利用拡大に向けて発行した「建設業における軽油代替燃料利用ガイドライン」に記載されている環境配慮型の燃料です。

■供給フロー

B100 製造施設→三和エナジー川口 DC（埼玉県川口市）→東急建設 東京都内土木現場

■取り組みの背景

B100 燃料は従来、建設機械(建設重機、発電機)での利用は想定されておらず、メーカーの保証範囲外となっているため、これまで利用検証は行われてきましたが、まだまだ浸透していないのが現状でありました。

今回株式会社アクティオが、品質が担保された B100 燃料を使用し、発電機にて燃料燃焼実験を 2 年間実施した結果、2022 年 8 月、発電機本体に問題が発生しなかったことが確認されました。この実験結果を踏まえ東急建設が 2022 年 8 月に提供開始したバイオディーゼル専用発電機を使用することを決断。これまで以上に建設現場における環境負荷低減を目指し、B100 燃料の導入を順次拡大していくこととなり、当社へ安定供給を打診いただき、供給を開始。

■今後の展開

既存プラント稼働中の東京都墨田区を中心に関東圏内、東北太平洋側の各デリバリーセンターにて自社のタンクローリーにてB5・B100配達。B5とはB100を5%未満軽油と混合した燃料でCO2を5%削減させます。軽油同等扱いの為、軽油を利用している対象物（車・重機・非常用発電機など）において切り替えが可能です。さらにB5においてはエコマーク認定も受けており、脱炭素を最大限にPRが可能となります。

2023年度埼玉県狭山市に大規模バイオ燃料製造プラント開設する事により、更に配達エリア拡大関西でも宇佐美グループの大同井本エナジー桜島油槽所にてB5を貯蔵。関西でも宇佐美配送事業グループで配達予定。

■各社の概要

<東急建設について>

1946年の創業以来、一貫して社会課題の解決に取り組んでおり、2021年3月に策定した企業ビジョン「VISION2030」では、気候変動やSDGsなどの社会課題解決に向け、建設事業をさらに深化させるとともに、新たな事業領域での価値創出に向けた探索を実行することとしております。

これにより東急建設は、すべてのステークホルダーの皆様に対し、企業理念である「安心して快適な環境づくり」と、「3つの提供価値（脱炭素、廃棄物ゼロ、防災・減災）」を通じた心を揺さぶるサービスを提供するとともに、次世代に向けたサステナブルな社会の実現に挑戦し、企業価値の向上を目指しております。

<https://www.tokyu-cnst.co.jp/>

<三和エナジーについて>

1967年の創業以来、燃料配送を通して「安心」を届けるという社会的使命を果たすため、建設現場を中心としたパトロール給油を提供しております。昨今では、建設現場にて求められている「カーボンニュートラル」に対して、環境負荷低減燃料を自社にて「製造」から「配送」までを一気通貫で行うべく、体制を構築しており、2023年秋ごろには、埼玉県狭山市にバイオ燃料製造プラントを開設予定。今後も燃料が必要なあらゆる状況下において、お客様のニーズに応えるべく、社員一丸となって、社会お客様を支え続ける企業を目指しております。

<https://sanwa-energy.com/>

【本プレスリリース及びバイオ燃料に関するお問い合わせ先】

三和エナジー株式会社
担当：バイオ事業部
TEL：045-548-8838
FAX：045-548-6638
平日：AM8時～PM17時